

奏音

DESIGN KANATO



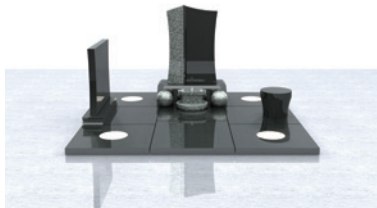
DESIGN KANATO

奏でる音の如く 故人の生涯。  
共に生きた証しを 偲ぶ場所。  
奏音の由来こそ そこにあり。  
今までも此れからも 寄り添いあう。  
気持ちをあらわし 祈りの心。  
形にし石に込め 永遠と。

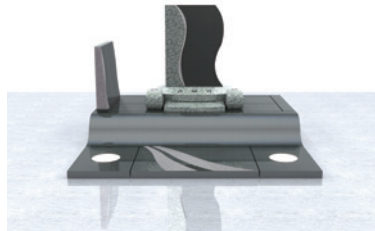


KANATO LINE UP

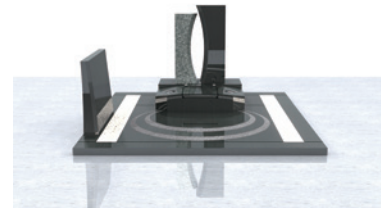
奏  
音



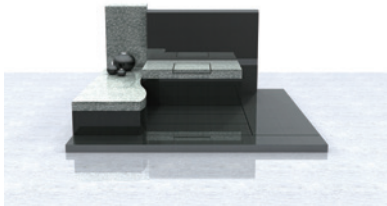
■ ゆい / YUI



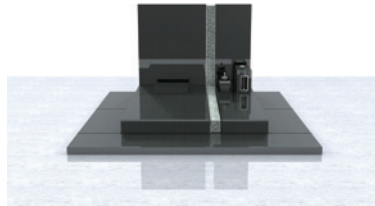
■ ふう / FUU



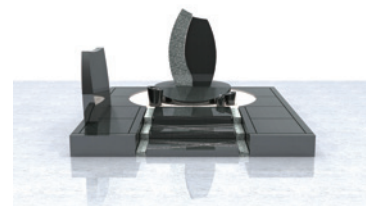
■ ゆと / YUTO



■ すい / SUI



■ りん / RIN



■ しき / SHIKI





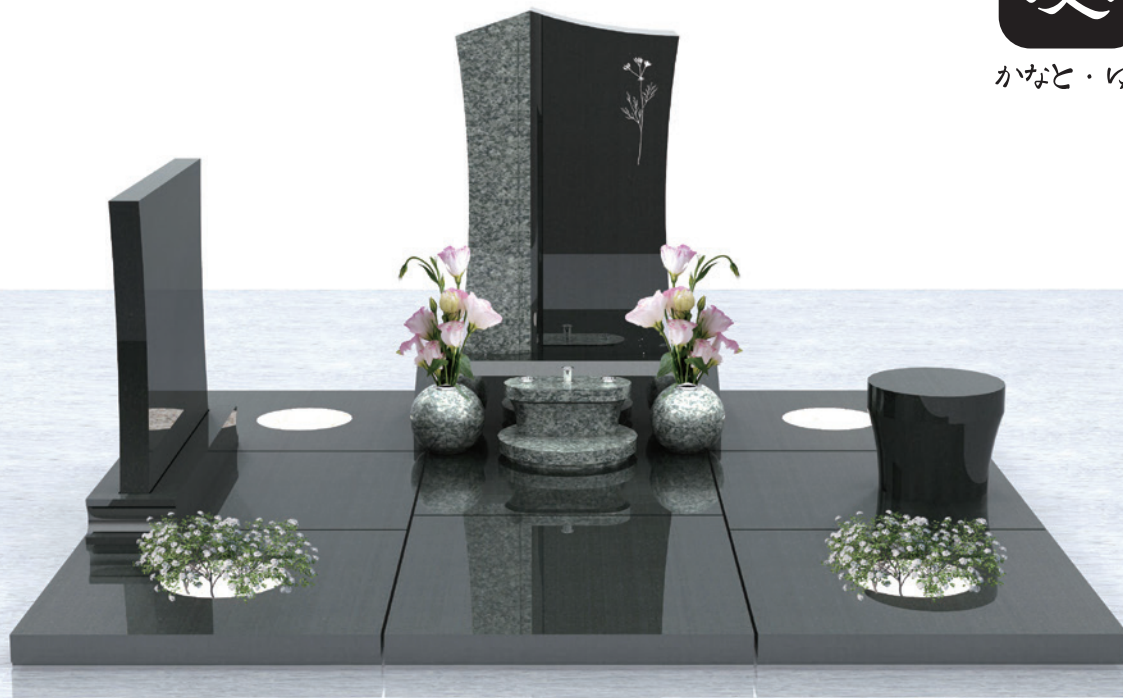
KANATO GALLERY

奏  
音

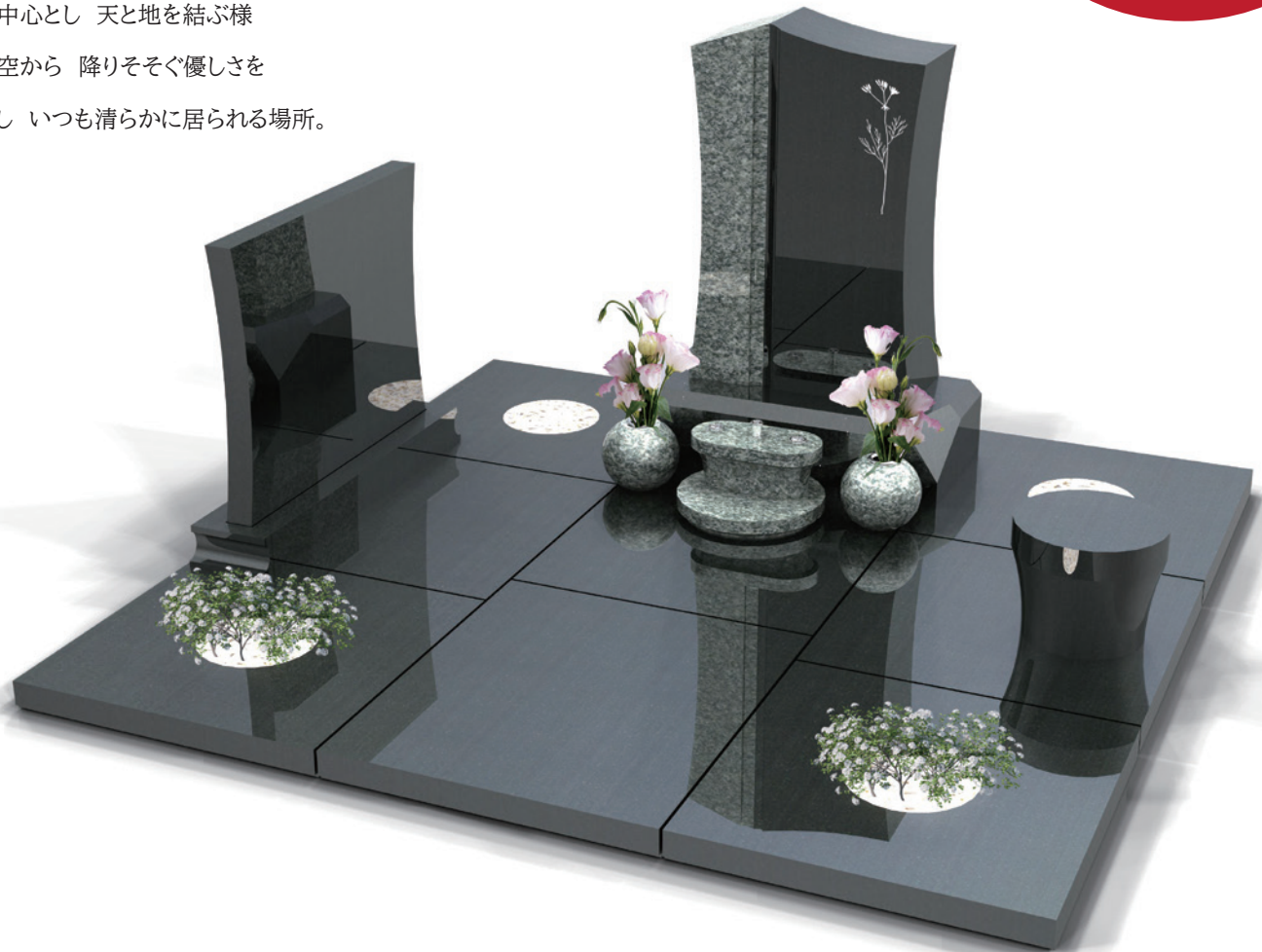
KANATO P5



かなと・ゆい

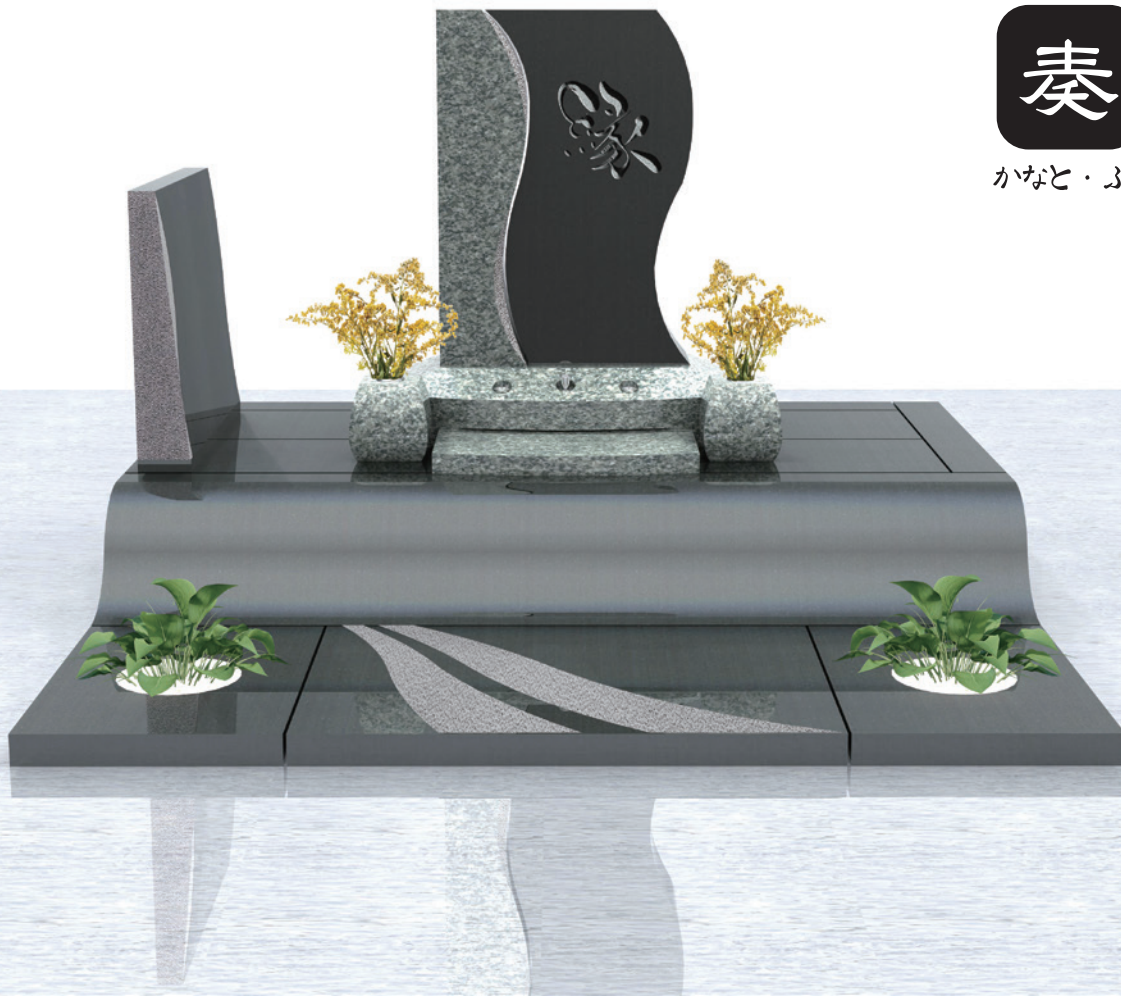


石碑を中心とし 天と地を結ぶ様  
全体に空から 降りそぐ優しさを  
映し出し いつも清らかに居られる場所。



SIZE OF SITE 2-2M

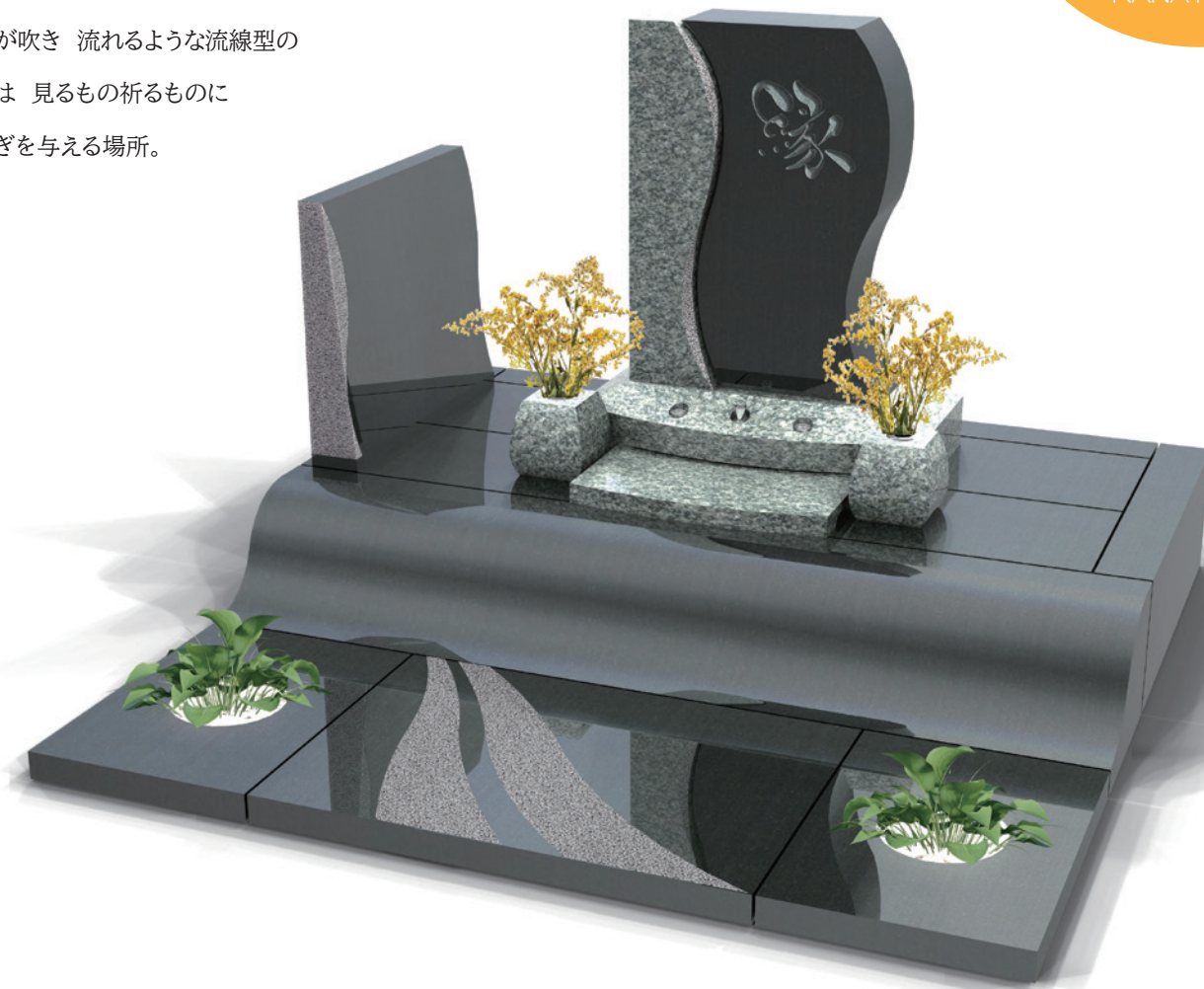
KANATO P7



かなと・ふう



そよ風が吹き 流れるような流線型の  
かたちは 見るもの祈るものに  
やすらぎを与える場所。

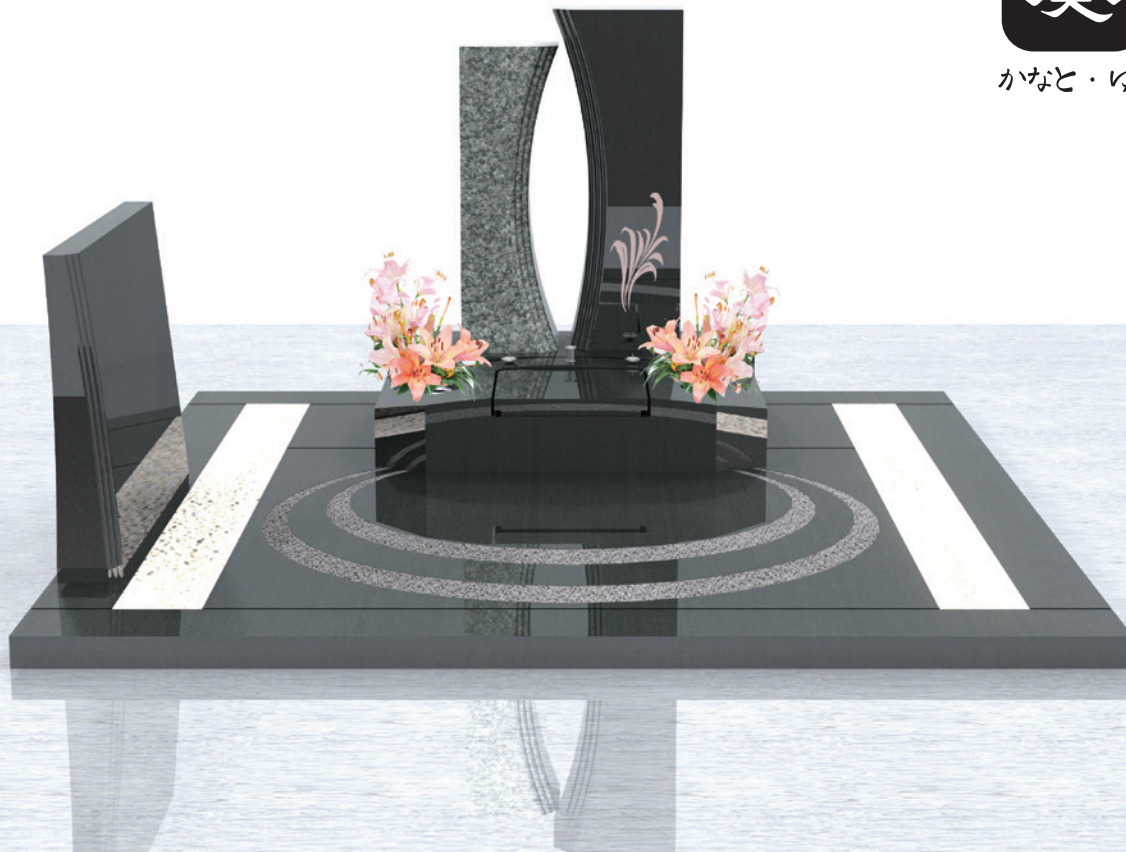


SIZE OF SITE 2-2M

KANATO P9



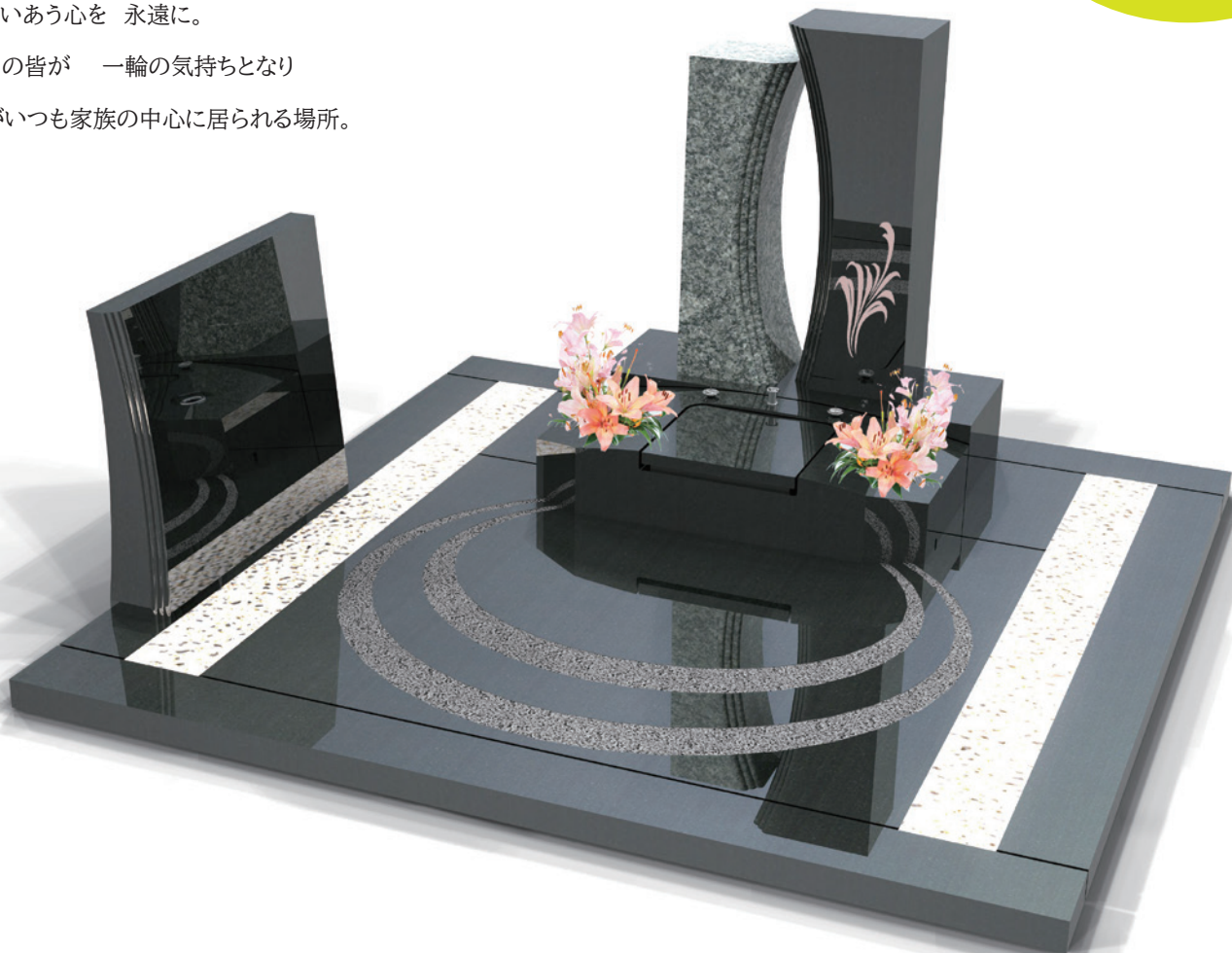
かなと・ゆと



寄り添いあう心を 永遠に。

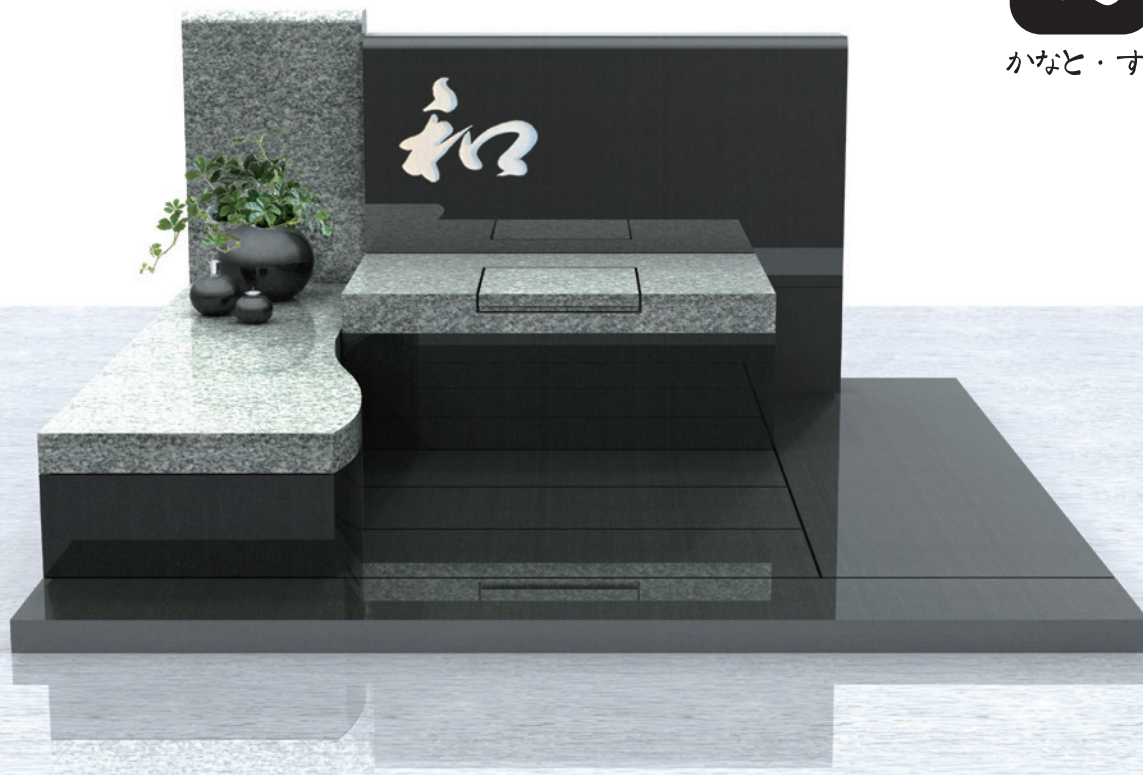
偲ぶもの皆が 一輪の気持ちとなり

故人がいつも家族の中心に居られる場所。



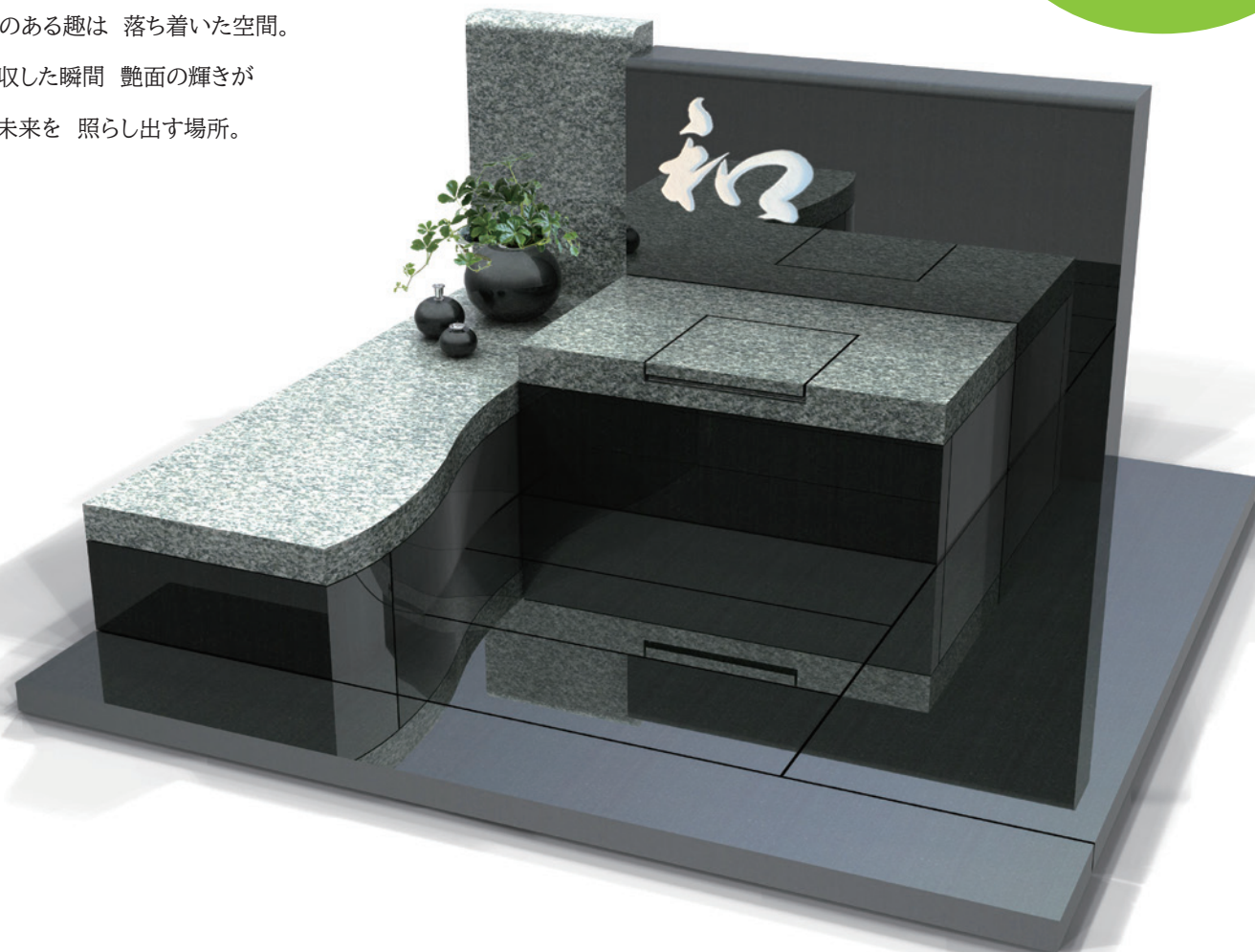
SIZE OF SITE 2-2M

KANATO P11



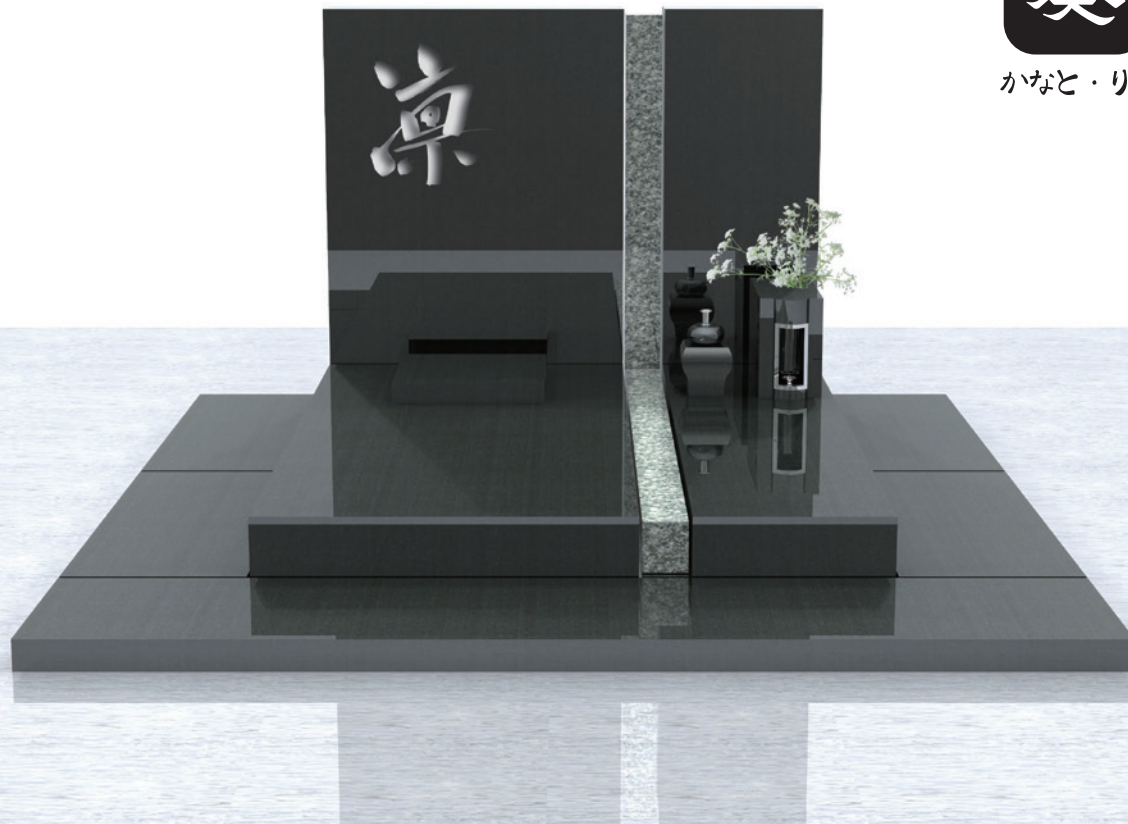
かなと・すい

重厚感のある趣は 落ち着いた空間。  
光を吸収した瞬間 艶面の輝きが  
明るい未来を 照らし出す場所。



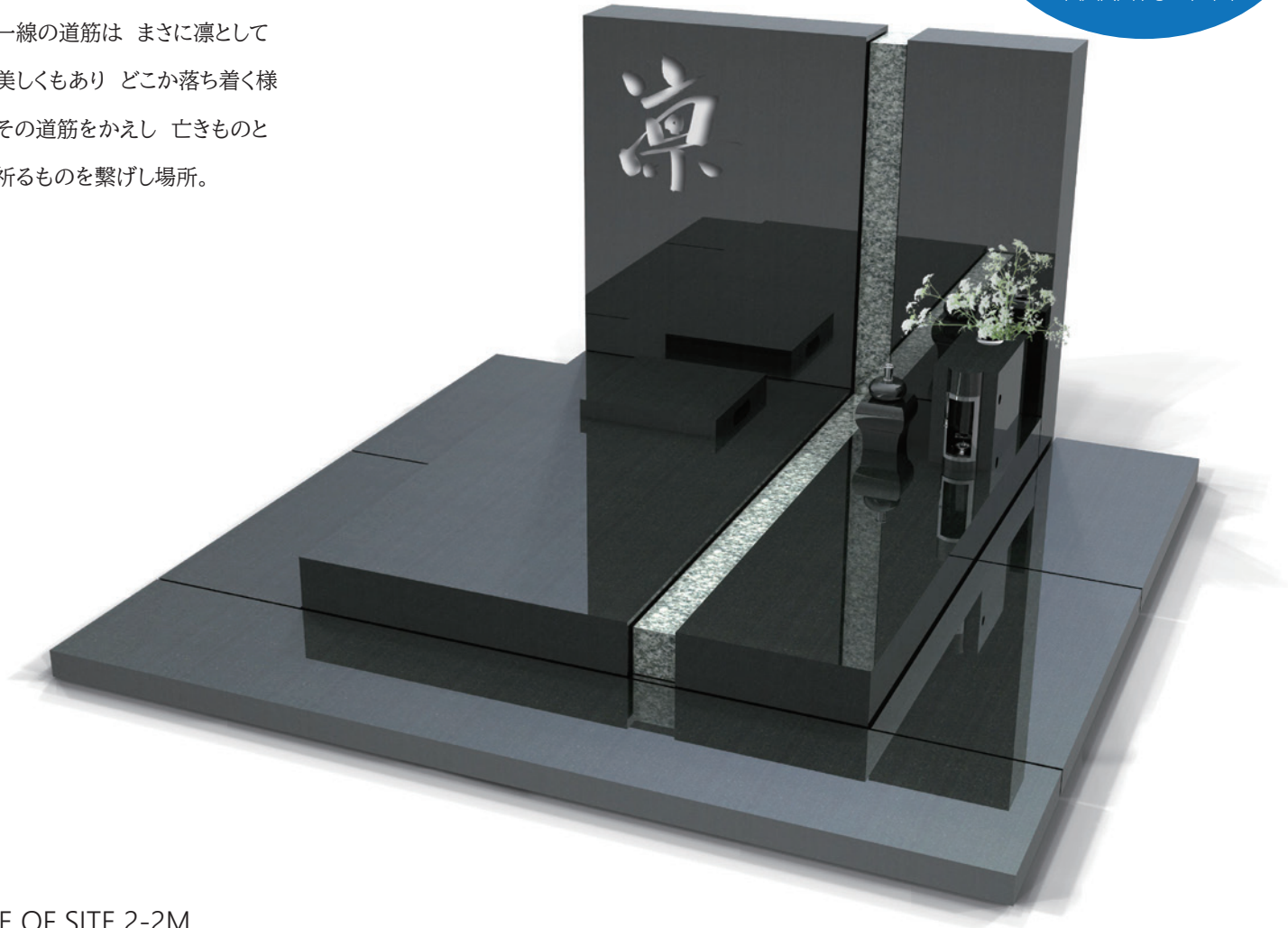
SIZE OF SITE 2-2M

KANATO P13



かなと・りん

一線の道筋は まさに凛として  
美しくもあり どこか落ち着く様  
その道筋をかえし 亡きものと  
祈るものを繋げし場所。

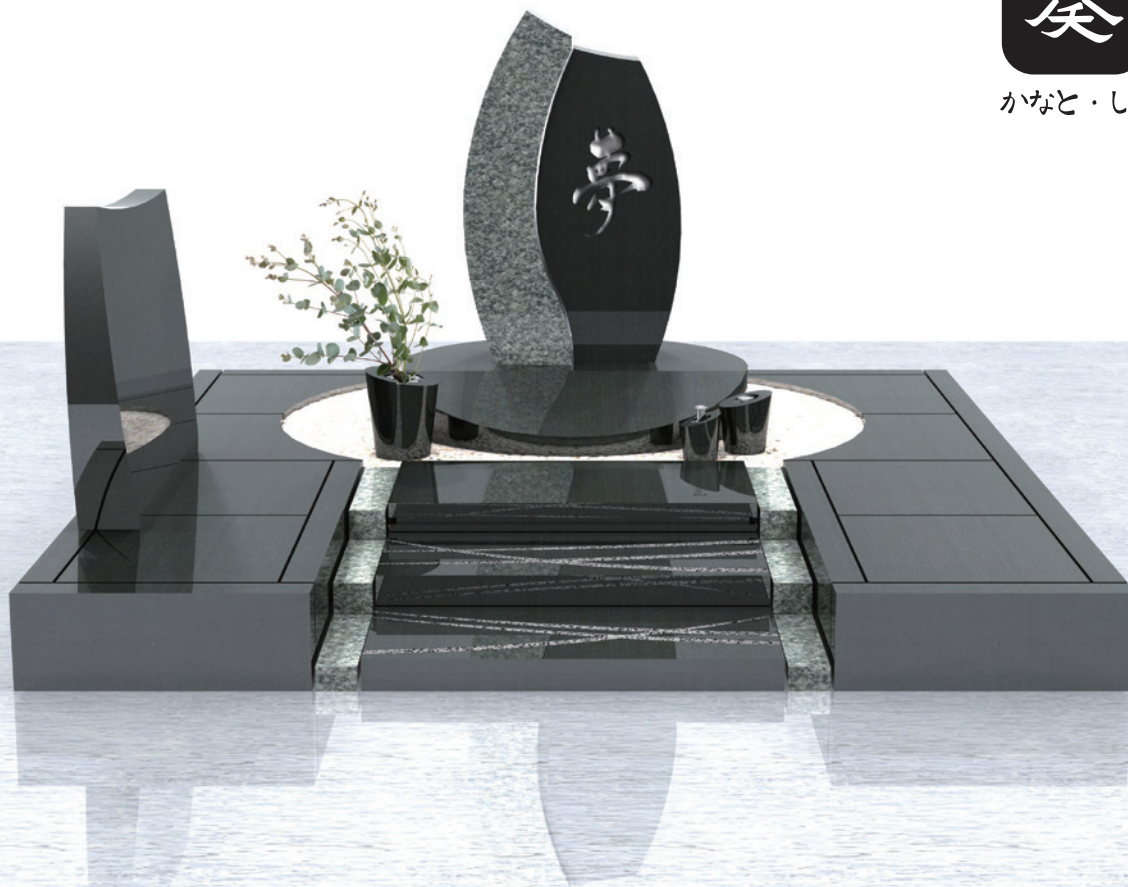


SIZE OF SITE 2-2M

KANATO P15



かなと・しき





せせらぎの音色と 季節を表現する様は  
時の流れをここに止め 幾度と繰り返す  
時代を刻み続けられるよう 詩季と名付け  
永遠と存在する場所。



SIZE OF SITE 2-2M